オープン

宇城市民プール・三角 B&G 海洋センタープールがオープン

期間　7月1日㈫～8月31日㈰
午前の部　10時 ~13時
午後の部　14時 ~17時
夜間の部　18時 ~20時
休館日　毎週月曜
※市民プールは月曜日が祝日の場合は翌日
利用料　高校生以上　200円
中学生以下　100円
※スイミングキャップが必要
所在地　宇城市民プール
松橋町豊福1786
三角 B&G 海洋センタープール
三角町波多2864-32
問 文化スポーツ課　☎32-1945
三角 B&G 海洋センター　☎52-2488

不知火温水プールは一年中楽しめる温水プールです

25メートルの5コースを、泳いだり歩行したり快適に楽しめます。
開館時間　10時～21時
休館日　毎週木曜(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
利用料　高校生以上　300円
中学生以下　150円
※1回の利用時間は最長2時間
※スイミングキャップが必要
所在地　不知火町高良2348
問 不知火温水プール　☎33-6678

三角 B&G 海洋センタープール

宇城市民プール

「ベジ1コンテスト in うき」レシピ募集

問 市保健福祉センター　☎32-7100

テーマ
子どもが笑顔で食べるお野菜レシピ

応募条件　調理時間30分以内、野菜を70ｇ以上使用、オリジナルレシピ　など
入賞賞品　ホテルペアランチ券、調理グッズ　など
※参加賞あり
応募資格　市内外どなたでも(家族・団体 OK、年齢不問)
応募期限　9月16日㈫(当日消印有効)
応募方法　応募用紙、応募フォーム
レシピと完成写真を提出
※応募用紙は、市ホームページからダウンロード可

応募フォーム

詳しくはこちら
市 HP

募集

結婚を応援するボランティアを募集します！

市と近隣市町村は「Ｋｕｍａｒｒｙ（クマリー）」を運営し、婚活支援を行う「くまもと出会いサポーター」を募集しています。興味のある人はご応募ください。
応募期限　7月21日㈪
応募方法や活動内容については専用サイトをご覧ください。
問 市こどもセンター
☎(33)1118

クマリー HP

消費者トラブル 注意報

商工観光課　☎32-1604

海外事業者とのサブスク(定額制)契約だったなんて！

事例　SNS 広告を見て3日間で約200円の占いのトライアルに申し込んだが、後日、約6,000円がサブスク代(定額料金)として請求された。改めて確認すると海外で運営されていると思われるサイトで日本語で表示されず解約の方法が分からない。

！ アドバイス
- 安易に登録せず、利用規約などを確認する。
- 日本語表示のサイトでも運営が海外事業者で、解約の方法自体分かりにくいことがある。
- サブスク契約は、1度契約すると利用の有無にかかわらず課金されるので、クレジットカードの請求額をこまめに確認する。

相談は **宇城市消費生活センター ☎33－8277** へ

かしこくみんなの 年金学

熊本東年金事務所
☎096-367-2503

今月の年金相談は
15日㈫
10時～15時　新館第5会議室
要予約

令和7年度の国民年金保険料
免除・納付猶予申請の受け付け開始

保険料が納付できない場合に、本人が申請し承認されると、納付が免除・猶予されます。
2年1カ月前の分まで受け付けができます。

免除(全額免除・一部免除)申請
本人・配偶者・世帯主それぞれの前年所得が一定以下の場合や失業した場合などに保険料の全額または一部(4分の3、半額、4分の1)を免除。

納付猶予申請
20歳以上50歳未満で、本人・配偶者それぞれの前年所得が一定額以下の場合、納付を猶予。

学生納付特例申請
学生本人の所得が一定額以下の場合、納付を猶予。

詳しくはこちら

注意　一部免除の場合は、残りの一部保険料を納めないと未納と同じ扱いになります。

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課　☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

収蔵資料整理のため**臨時休館**します
7月22日㈫～8月7日㈭

郷土資料館　入館料無料

開館時間　10時～17時
休館日　月・木曜(祝日の場合はその翌日)
住所　豊野町糸石3818　☎45-2102

解説！蒙古襲来絵詞ー これであなたも元寇博士！② ー

〈絵1〉博多の筥崎に到着する季長一行 ※7～8月展示　皇居三の丸尚蔵館収蔵

竹崎季長は、鎌倉幕府の呼びかけに応え、肥後国(現在の熊本県)から文永の役、弘安の役に参戦した武士の一人です。元寇以前に現在の松橋町竹崎にいたとされています。

幕府の呼びかけを受けた時、季長は家督争いに敗れ無足(領地がなく収入がない状態)の身でした。戦いで手柄を上げ個人として恩賞の領地を得られなければ、武士として生きていく当てがないと、命を懸けてでも手柄を上げることを目的に、29歳の時に自身含め5人の少ない軍勢で文永の役に参加しました。

蒙古襲来絵詞の〈絵1〉には、文永の役の舞台である博多に季長一行が到着した場面が描かれています。

季長一行が到着したのは筥崎(現在の福岡市東区箱崎)で、季長の軍勢とともに筥崎宮の鳥居が描かれています。同じく筥崎に参集した武士の軍勢とともに、松林の中を進軍している様子が描かれます。

季長の軍勢として、先頭には旗指(軍勢の紋が入った旗を持つ役割)の三郎二郎資安、続いて季長の姉婿である三井資長、その後ろに季長、従者の藤源太資光、名不詳の従者が続き進軍しています。